

わたSHIGA輝く障スポ（第24回全国障害者スポーツ大会）リハーサル大会  
グランドソフトボール競技実施要領

## 1 競技規則

令和7年（2025）度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

## 2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名、選手15名以内（男女は問わない）とし、他に専任のコーチャー4名以内、スコアラ－1名およびマネージャ－1名を設けてもよい。
- (2) 監督が選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手の人数は、選手を兼ねる監督含め15名以内とする。

## 3 競技方法

- (1) 試合はトーナメント方式とし、3位決定戦を行う。
- (2) 試合は7回までとし、試合開始後80分（決勝・3位決定戦は100分）を経過した後は、新しいイニングに入らない。
- (3) 同点の場合は、制限時間において延長戦を行う。それでも同点の場合は、正式引き分け抽選により勝敗を決する。最終出場選手10名の抽選によって勝敗を決定する。（決勝戦を除く。）最終メンバーとは、最終回に出場していた選手10名（守備者）をいう。
- (4) 指名打者（DH）および再出場（リエントリー）を採用する。
- (5) 試合球は、全日本グランドソフトボール連盟公認球とし、主催者が用意する。

## 4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチャーおよび選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は30番、専任のコーチャーは31番から34番、主将は10番とし、他の選手は1番から99番の番号とする。また、ユニフォームの左袖に県・指定都市名を表示すること。
- (3) 競技中、コーチャーズボックスにいるランナーコーチャーは、黄色の帽子を着用すること。
- (4) スコアラ－およびマネージャ－は、ユニフォームを着用してはならない。
- (5) 金属製スパイクの使用は禁止する。
- (6) 危険防止のため、競技中の選手（コーチャー含む）は、腕時計、ブレスレット、ネックレス等危険と思われるものを着用してはならない。

## 5 組合せ

組合せは、令和7（2025）年2月（予定）に開催するプログラム編成会議において主催者が、関係者立会いのもとに代理抽選の上、決定する。なお、打順表は監督会議において競技本部から配布する。

## 6 打順表等

- (1) 打順表は、試合開始時刻30分前までに5部作成し、競技本部へ提出する。ただし、第1試合は開始式終了後に提出すること
- (2) 攻守の決定は、打順表提出時に審判員立会いの下、決定する。
- (3) 視力区分（全盲・弱視）の登録は、打順表の提出をもって行う。

## 7 表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

## 8 その他

- (1) 監督会議は競技開始前に行う。  
なお、監督会議の時間および場所については別途通知する。
- (2) 監督会議では、あらかじめ主催者と協議した事項について、大会申し合わせ事項を設けることができる。監督会議で決定した申し合わせ事項等は、大会の規定と同じ扱いとし、遵守する。
- (3) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。
- (4) ベンチ内へは、監督、コーチャー、選手、スコアラー、マネージャー以外は入ることができない。ただし、チームスタッフとは別にトレーナーを帯同しているチームは、1名ベンチに入ることができる。  
なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。
- (5) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (6) アイシェード、全盲プレイヤー標示物、黄色標示物、コーチャー用帽子および練習球は、各チームで用意すること。
- (7) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (8) 練習球は、各チームが用意する。
- (9) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合等の取扱いは、主催者において別途決定する。